

この冊子は、「認知症ではないかと不安なあなた」「認知症と診断されてこの先のことが心配なあなた」に読んでもらいたい冊子です。

医師からのメッセージ

認知症は脳全体のほんの数パーセントが障害されているだけで、他の脳の働き(笑ったり泣いたり怒ったり、運動や食事をするなど)は認知症でない方となんら変わりありません。物忘れや感情の起伏に合わせたお薬と、デイサービスなどの介護サービスを利用する事で、症状の進行を遅らせ安定した生活を送ることができますので、安心してください。

地域包括支援センター職員からのメッセージ

「あれ、これってもしかして認知症?」「家族が認知症になってしまい困っている」そのような時には一人で悩まず、早めに地域包括支援センターにご相談を!
地域包括支援センターとは認知症のみならず、高齢者の生活に関わる、保健・医療・福祉の言わば駆け込み寺です。誰でもお気軽にご利用ください。

民生委員からのメッセージ

「認知症かも」そんな不安を感じたら、抱えこまずに誰かに相談してみませんか。
認知症は早期発見が大切な病気だと言われています。認知症について正しい知識を得て症状に合わせた治療を行い、生活習慣も見直していきましょう。
一人で悩まないでください。ご家族はもちろん、地域の方、行政など周りの協力を得ながら、自分らしい日常生活が送れるよう心がけていきましょう。
私たち民生委員は、高齢者の方や認知症の方に寄り添い、皆さんが住み慣れた場所で、笑顔で安全に、安心して暮らすことができることを望んでいます。

豊橋市役所長寿介護課からのメッセージ

認知症のご本人やご家族、地域の方々とともに、認知症になっても住み慣れた地域で、できる限り自分らしく暮らすことができるまちづくりを進めていきます。